

堀場止夫 （号） 評論家、小説家。明治二十九年七月～二十二年愛知縣生  
 れ（一九〇一）。大正大學中退。昭和七年詩誌『籟』創刊同人、十二  
 年名古屋新聞『特派員』として武漢へ従軍。戦後岫巖社編集部長。  
 著書『博徳者』（昭和十六年五月）『生死の思索』  
 （合著、昭和十六年七月～二月）『二十日教材社「思索叢書」』、『遠征と詩  
 歌』（昭和十七年七月十日、再刊・九月十日）『あ・そきえと「新  
 ぐらう」叢書』、『英雄と祭典』（昭和十七年九月五日）愛知・白馬  
 書房）、『格言の泉』（昭和四十五年七月～二十日鶴書房）『エン・パント  
 ・パックス』、『白馬の格言』（昭和四十一年二月～二十日鶴書房）  
 等。